日本高気圧潜水医学会雑誌　投稿規定

1. 投稿の資格

投稿は共著者を含め本会会員に限る。ただし，編集委員会が必要と認めた場合には，会員以外にも投稿を依頼し，あるいは共著者として認めることがある。

2. 論文の種類

投稿論文は，高気圧酸素・潜水医学の進歩に寄与する内容で，独創性のある最新の研究などとし，他紙に発表されたことのないものに限る。外国語雑誌にすでに掲載された論文を日本語で再投稿する場合は，第2出版物（second publication）であることを明記した上で，資料として掲載することができる。その際，オリジナル誌の承認を得た文書のコピーを添付する。

投稿論文の分類は総説・原著・症例報告・事例報告・技術報告・意見・解説・資料等とする。学術総会における特別講演等については，総説原稿として編集委員会が投稿依頼をすることができる。シンポジウム等における発表演題については，シンポジウム記録等として投稿依頼をすることができる。本誌に掲載された論文への意見については，簡潔なタイトルを付けて「Letter to the Editor」として投稿できる。

3. 論文の形式・文字数

投稿原稿のページ設定は，A4版サイズにパソコン等を用いて横書きしたものとする（ソフトウエアとしてはMSワードを推奨）。フォントは，和文ではMS明朝，欧文ではTimes New Romanを標準とし，サイズは和文12ポイント，欧文12ポイントとする。和文の場合，文字数は1行25字，行数は1ページ24行を標準とする。査読者が当該場所を指摘しやすいように，ページ右下にページ番号およびページ左に行数番号をつける。本文は原則として，総説で12,000字以内，原著で10,000字以内，症例報告，資料等で5,000字以内とする。句読点は投稿規定の様式に従う。欧文の場合，1ページ24行を標準とする。本文は原則として，総説で6,000語以内，原著で4,000語以内，症例報告等で2,000語以内とする。Letter to the Editorは和文のみとし，タイトルを含め800字以内とする。

AIの利用についてはオリジナリティが損なわれない範囲で，かつ他の出版物等の著作権を侵害しない範囲とする。

1）表紙について

投稿原稿の表紙の上半分に論文の種類（総説，原著，症例報告などの別），表題，著者名，所属機関名および所在地（これらには英文を付記すること），下半分には本文・抄録・図・表などの枚数，編集者への希望事項，連絡先住所，電話番号，FAX番号，メールアドレス，ヒト・動物に関する実験では「ヘルシンキ宣言」にのっとっているかを明記する。併せて，倫理委員会等の審査を受けている場合は，審査結果の文書を添付すること。表題が長い場合は，短縮表題（ランニングヘッド）を付記すること。和文では30字以内，英文ではスペースを含めて40字以内とする。

2）抄録について

和文原稿には英文抄録（300語以内），英文原稿には和文要旨（500字以内）を付けること。日本語と英語でそれぞれ5つ以内のキーワード，Key wordsを付けること（表題に用いられていない用語を使用のこと）。この抄録は，論文の冒頭に掲げるので，論文の内容を十分理解できるような表現に留意すること。英文抄録は原則として学会事務局で校閲を依頼する（著者への費用負担は無い）。

3）本文について

本文は原則として緒言（ないし背景・目的），材料・方法，結果，考察（結論），謝辞，文献の順とする。略語の使用については，初出の際に必ず正式名称を記すこと。句読点は本投稿規定の様式に従う。

4）文体と用語について

和文原稿の場合は，原則として常用漢字，新かなづかいとし，外国語・外国固有名詞・化学物質名・特殊な術語などは，原綴でタイプすること。外来語・動植物名などは片かな，数字はアラビヤ数字として，単位は原則として国際単位系（CGS単位）に従うこと。歴史的な記述等で他の単位を用いる場合も初出には必ずCGS単位を併記する。ただし圧力の記載については，慣用的な相当深度で表記してもよい。英文の原稿の場合は，原則としてnative speakerの校閲を経たものとする。

5）図（含写真）・表について

図・表は併せて，総説で10点以内，原著で8点以内，症例報告で5点以内を標準とする。原著及び症例報告（含技術報告等）の図・表のタイトル及び説明文は英文が望ましいが和文でもよい。その他の原稿についても同様である。図はFig. 1，表はTable 1のように表記し（和文表記の場合はそれぞれ図1及び表1とする），図のタイトル及び説明文は図の下に，表のタイトルは表の上に配置する。グループ化した図表とタイトル及び説明文を本文の中に挿入することが望ましいが，別に用意してもよい。図は原則としてモノクロで掲載する。

図表は1枚挿入ごとに本文から400字減ずるものとする。本文中に図表の挿入個所を明示すること。

6）引用文献について

引用文献は，本文中の引用箇所に肩番号1）2）を付け，引用順に記載する。書き方は，下記＜例＞を参照すること。

雑誌の表記は和文雑誌の場合正式名称を用い（短縮名は用いない），欧文雑誌はIndex Medicusに準拠する。

著者名は5名までは全著者を記し，それを超える場合は，最初の3名に続けて，「，他.」あるいは「, et al.」とする。

引用文献数は原則として原著で30編以内，症例報告等で20編以内とする。総説に関しては特に制限を設けないが，不必要に多い場合は削減を求めることがある。

webからの引用文献は，引用文献の半数以下を目安とする。

＜例＞

1）鈴木信哉：減圧障害の治療．日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2006；41：59-72.（和文雑誌の場合）

2）池田知純：減圧症とは．潜水．2006；No. 64. pp. 20-23.（和文雑誌，巻数のない場合）

3）鏡森定信：職場の健康管理．In：柳川洋（編）．健康管理概論改訂第3版．東京；南江堂．2000；pp. 137-147.（和文著書，編者のある場合）

Presented by Medical*Online

4）佐藤方彦：最新生理人類学．東京；朝倉書店．1997；pp. 1-156.（和文単行本の場合）
5）McInnes S, Edmonds C, Bennett M: The relative safety of forward and reverse diving profiles. Undersea Hyperbaric Med 2005；32：421-427.（欧文雑誌の場合）
6）Nishi RY, Sullivan PJ: Decompression studies for divers and astronauts. In: Mano Y, ed. The First Panel on U.S./Japan Diving Physiology and Aerospace Medicine（Formerly UJNR）. Tokyo; Japanese Society of Hyperbaric and Undersea Medicine, 2006；pp. 26-29.（欧文著書，編者のある場合）
7）Barsky SM: Diving in High-Risk Environments, 3rd ed. Santa Barbara CA; Hammer-head Press. 1999；pp. 1-197.（欧文単行本の場合）
8）セミ成虫の寿命1週間は俗説！ 笠岡高植松さんが生物系三学会最優秀賞
https://www.sanyonews.jp/article/909869 accessed Aug 15, 2019（web情報の場合）

4. 原稿の採否

投稿原稿の採否，掲載の形態，掲載順は編集委員会が決定する。依頼原稿を除き，総説・原著論文・症例報告及びこれに準ずる原稿の採否の審査は査読制を採用する。査読結果の通知を受けてから2ヶ月以内に再投稿すること。訂正原稿が期限に間に合わない場合も，再投稿の意志があればその旨連絡すること。連絡なき場合は不受理とする。

5. 倫理規定の遵守

生物（ヒトおよび動物）を対象とした研究は，ヘルシンキ宣言「1964，1975，1983，1989，1996，2000，2002，2004，2008，2013年改訂（資料別添）」に述べられている科学的，倫理的規範を満たしている必要がある。同意を得ることが出来る被験者には，あらかじめ研究内容について十分説明を行い，必ず自由意志に基づく同意を得なければならない。同意を得られない小児や障害者の場合，あるいは研究の都合で同意を得ないで実施しなければならない場合には，しかるべき機関の倫理委員会における同意文書の提出が必要である。 動物実験では，動物愛護，福祉の立場から，適切な実験計画を立て，全実験計画を通じて苦しみや痛みを与えないように配慮しなければならない。以上の遵守項目については，いずれも論文の研究方法の項で明記しなければならない。また，倫理審査を受けた機関名および承認番号を同時に記載すること。

6. 共著者

共著者は研究内容及び原稿作成に具体的に関わった者のみとし，原則として5名以内とする。5名を超える場合は，具体的にどのように関わったかを明記した文書を添付する。共著者は記載内容に関しての責任を負う。

7. 投稿原稿の帰属について

本誌掲載原稿は，著作者自身以外が印刷版面を利用して複写，複製して領布すること，翻訳等により2次的著作物を作成し領布すること，第3者に対して転載を許諾する権利は本学会に帰属する。ただし，著作者自身の権利を制限するものではない。

8. 原稿の送付方法

投稿原稿（含図表）は，5 Mb以内の容量の原稿をe-mailにて送付する。手書き原稿は原則として認めない。初回投稿時のデジタル図・表については，査読に問題のない程度の画質で良いが，より精密な図表の印刷を望む場合は，原稿採択後に印刷用のデジタル図・表を郵送または編集委員会が指定するDropboxに送付すること。投稿された原稿は返却しない。

9. 利益相反（COI）について

利益相反関係（例：研究費・特許取得を含む企業との財政的関係，当該株式の保有，公的研究費に基づくかどうか等）の有無を投稿論文本文の最後に明記すること。

例1：著者全員は○○学会へのCOI自己申告を完了しています。本論文の発表に関して開示すべきCOIはありません。

例2：著者全員は○○学会へのCOI自己申告を完了しており，筆頭著者が昨年1月～12月において本研究に関して開示すべきCOIは以下のとおりです。

A社，B社より研究費（年間200万円以上）を，C社より講演料（年間100万円以上）を得ています。

10. 査読料，掲載料及び別刷り料

原稿の査読料は徴取しない。掲載料は学会が負担する。別刷りは30部を無償で提供するが，それを超える部数は別途記載の料金表による。必要別刷り部数は著者校正の際に明記する。

以下の投稿原稿に関しては実費を著者から収納する。

1）規定のページ数を超過した場合
2）図版，表の版下を新たに作成する必要があった場合
3）カラー印刷を希望する場合

11. 校正

著者校正は原則として1回とする。

12. 投稿規定の改定

投稿規定は，編集委員会の議を経て改正することができる。

附則

本投稿規定は，2025年4月1日より施行する。

送付先

email：henshuu.hbo@juhms.net
郵送先：〒113-8519　東京都文京区湯島1-5-45
東京科学大学病院 高気圧治療部内
日本高気圧潜水医学会雑誌 編集委員会

投稿原稿別刷定価表

単位（円）

部数＼頁数	1～2	3～4	5～8	9～12	13～16
50部まで	8,700	14,100	17,700	22,500	30,300
100部まで	11,400	16,200	20,400	26,700	36,300
150部まで	14,100	18,300	23,100	30,900	42,300
200部まで	16,800	20,400	25,800	35,100	48,300
250部まで	19,500	22,500	28,500	39,300	54,300
300部まで	22,200	24,600	31,200	43,500	60,000
400部まで	27,600	28,800	36,600	51,900	72,000
500部まで	32,000	33,000	42,000	60,000	84,000

Presented by Medical*Online